医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻の教育理念・目標

医歯薬学総合研究科保健学専攻は，人の健康的な社会生活をサポートするスペシャリストを養成し，様々な健康水準にある人々を対象に，健康回復・維持・増進のための保健医療活動を，科学的根拠に基づいて効果的かつ効率よく行うことができ，さらに幅広い視点から個人および組織・社会全体にアプローチしていく実践力と専門職としての学問体系を自ら築く力を持つ人材の育成を教育理念とし，修了生に以下の諸能力・資質を身につけることを教育目標としています。

1. 高度な専門的知識と倫理観をもつ実践力を身につけた保健医療人材の育成
2. 地域における専門性の高い健康支援が遂行できる高度保健医療専門職の育成
3. グローバルな視野で保健医療活動ができる高度保健医療専門職の育成
4. 科学的探究の態度と創造性に富む柔軟な思考力を身につけた人材の育成
5. 多分野・多職種の人々と連携・協働できる学際的能力を身につけた人材の育成

この教育目標を達成すべく，以下に挙げる３つのポリシーに基づいた修士課程教育を行います。

医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得したうえ，論文審査および最終試験に合格し，

1. 人間や生活に関わる幅広い学問領域の知識を修得している。
2. 高度専門職業人として，地域社会およびグローバル社会で活躍するために必要な専門知識・技能を修得している。
3. 看護学・助産学・公衆衛生看護学，理学・作業療法学分野における高度な実践能力を修得している。
4. 多分野・多職種の人々と連携・協働するための調整能力を身につけている。
5. 高い倫理観を持って実践できるリーダーシップを身につけている。
6. 科学的に探究する研究手法ならびに教育手法を修得している。

と認められた者に対し，看護学分野にあっては修士（看護学），理学療法学分野にあっては修士（理学療法学），作業療法学分野にあっては修士（作業療法学）の学位を授与します。

学位論文審査基準

・研究テーマが当該研究領域において，独創性および有用性が高いこと。
・当該研究領域において課題を的確に把握し，解明するための十分な情報収集力と知識があること。
・研究の方法および対象者に対して倫理的配慮がなされていること。
・研究の方法（調査方法，データ解析，提示方法）が科学的根拠に基づき，適切であること。
・論文の記述（要旨，本文，図・表，文献など）が十分であり，序論から結論まで一貫して論理的で，整合性があること。

医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー

保健学専攻では，教育目標に掲げる人材を育成するために，大きく以下の方針に基づき教育課程を体系的に編成・実施します。

1. 共通科目では，豊かな人間性と広い視野の獲得および専門領域における基礎的知識を補強し，最新の専門知識を学ぶための科目を配置します。

2. 専門科目では，高度専門職業人としての優れた専門知識・技術を涵養します。特に，保健医療に関する課題を解決できる高度な実践能力と方法論を修得するためのセミナー科目を配置します。

3. 他分野の専門領域を理解し，連携・協働できるようになるために，他分野の専門科目の一部を修得できるように編成します。

4. 高い倫理観を持って保健学分野の発展に必要な創造性豊かな探究心とリーダーシップを養うための科目を配置します。

5. 研究的思考を育てるため，適切な研究手法を選択し，自ら課題に取り組む能力を向上させる特論，セミナー，特別研究を系統的に配置します。

保健学専攻には，看護学，理学療法学，作業療法学の３つの専門分野があり，各分野に応じ「修士論文コース（看護実践科学，公衆衛生看護学，リプロダクティブヘルス，理学療法学，作業療法学）」，「遺伝看護・遺伝カウンセリングコース」，「助産師養成コース」，「保健師養成コース」の４つのコースを設け，それぞれ特徴のあるカリキュラムを編成・実施しています。各コースのカリキュラム・ポリシー（a）および評価方法（b）は以下の通りです。

修士論文コース

1-a. 共通科目では，保健学の幅広い領域に対応できる最新の知識・技術およびその能力を修得するための基盤を養う科目を配置します。

1-b. 学修の到達度は，主に筆記試験およびレポートにより評価します。

2-a. 専門科目では，保健学の各分野に関する高度な専門性や実践力を身につけるための科目を配置します。特に，セミナー科目では，グローバルな視野および地域志向性に基づいて保健医療分野に貢献するために必要な最新の知識・技術および実践力を修得する科目を配置します。

2-b. 学修の到達度は，主に筆記試験およびレポートにより評価します。

3-a. 生命・医療倫理の深い知識に根ざし，科学的根拠に基づいた先進的な保健・医療・開発研究を実践するために，各分野に特別研究を配置します。

3-b. 学修の到達度は，レポートやプレゼンテーション，ディスカッションで評価しますが，最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（修士論文コース）

資質等＼科目等		共通科目	専門科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識・理解	生体情報科学特論		
	専門的知識・理論	臨床免疫学特論 生体機能解析・制御学特論 保健医療社会学特論	看護理論 看護実践科学特論 公衆衛生看護学特論 ヘルスプロモーション特論 リプロダクティブヘルス特論 地域・国際助産学 心臓・呼吸機能障害理学療法学特論 運動障害理学療法学特論 地域リハビリテーション特論 ペインリハビリテーション特論 がんリハビリテーション特論 身体障害作業療法学特論 老年期障害作業療法学特論 精神障害作業療法学特論 発達障害作業療法学特論 基礎作業療法学特論	
	高度な実践能力	グローバルヘルス特論 開発協力特論	看護実践科学セミナー 公衆衛生看護学セミナー リプロダクティブヘルスセミナー 周産期救急ケア演習 地域助産学演習 国際助産学演習 理学療法学セミナー 作業療法学セミナー	
	調整能力・倫理観・リーダーシップ	メンタルヘルス特論 医療倫理	看護管理学特論	
	研究手法・教育的手法	研究方法特論I 研究方法特論II 保健学研究の統計的理論と実践 保健統計解析演習	看護教育論 母子保健支援論	看護実践科学分野特別研究 公衆衛生看護学分野特別研究 リプロダクティブヘルス分野特別研究 理学療法学特別研究 作業療法学特別研究

遺伝看護・遺伝カウンセリングコース

1-a. 共通科目では，医療技術の進歩や研究で得られた最新の知見を検索する能力と，医療専門職者として研究的に思考し，かつ倫理観を持って分析するための基礎的知識を学びます。
1-b. 学修の到達度は，レポートにより評価します。

2-a. 専門科目では，講義で遺伝学と遺伝カウンセリングの基礎知識，先端技術を学び，その知識を基に実習では遺伝医療と生活の実際に触れ，遺伝医療の対象となる人々の理解を深めます。実践能力向上を目指し，近年のトピック，研究についてディスカッションしながら，講義，実習での学びと合わせて倫理観を身につけます。
2-b. 学修の到達度は，一部の科目は筆記試験，その他はレポートやプレゼンテーション，ディスカッションを通じて評価します。

3-a. 遺伝看護および遺伝カウンセリングの実践につながる研究活動を遂行するために必要な手法を身につけるようセミナー，特別研究を系統的に配置します。
3-b. 学修の到達度は，レポートやプレゼンテーション，ディスカッションで評価しますが，最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（遺伝看護・遺伝カウンセリングコース）

科目等 / 資質等		共通科目	専門科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識・理解		医療情報特論 分子遺伝系 カウンセリング技法	
	専門的知識・理論	保健医療社会学特論	遺伝医療学 基礎遺伝解析学演習	
	高度な実践能力		遺伝看護実習 遺伝カウンセリング実習	
	調整能力・倫理観・リーダーシップ	医療倫理		
	研究手法・教育的手法		遺伝看護セミナー	リプロダクティブヘルス分野特別研究

助産師養成コース

1-a. 共通科目では，豊かな人間性と広い視野の獲得および専門領域における基礎的知識を補強し，最新の専門的知識を学ぶための科目を配置します。

1-b. 学修の達成度は，筆記試験およびレポートにより評価します。

2-a. 専門科目では，助産師として周産期，ウィメンズヘルス領域における適切な支援やケアを実施する高度専門職業人としての優れた専門的知識・技術を修得するための科目を配置します。最新のエビデンスを活用し，高い倫理観を持って，女性中心のケアが展開できるような助産学に関する課題を解決できる高度な実践能力と方法論を修得するためのセミナー科目を配置します。

2-b. 学修の達成度は，一部の科目は筆記試験，その他はレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。

3-a. リプロダクティブヘルスの実践につながる研究活動を遂行するために必要な手法を身につけるよう特論，セミナー，特別研究を系統的に配置します。

3-b. 学修の達成度は，レポートやプレゼンテーション，ディスカッションで評価しますが，最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（助産師養成コース）

資質等＼科目等		共通科目	専門科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識・理解	生体情報科学特論		
	専門的知識・理論	臨床免疫学特論 生体機能解析・制御学特論 保健医療社会学特論	看護理論 リプロダクティブヘルス特論 公衆衛生看護学特論 ヘルスプロモーション特論 看護実践科学特論 地域・国際助産学 ウィメンズヘルス特論 妊娠期助産診断・ケア学 分娩期助産診断・ケア学 産褥新生児期助産診断・ケア学 育児期助産診断・ケア学 ハイリスク助産診断・ケア学 高度助産技術実践論 ※指導教員と相談の上，TMGH科目を2単位まで履修することができる	
	高度な実践能力	グローバルヘルス特論 開発協力特論	リプロダクティブヘルスセミナー 周産期救急ケア演習 地域助産学演習 国際助産学演習 助産業務管理学実習 ウィメンズヘルス演習 助産学実習I・II・III 看護実践科学セミナー 公衆衛生看護学セミナー	
	調整能力・倫理観・リーダーシップ	メンタルヘルス特論 医療倫理	看護管理学特論 助産業務管理学	
	研究手法・教育的手法	研究方法特論I 研究方法特論II 保健学研究の統計的理論と実践 保健統計解析演習	看護教育論 母子保健支援論	リプロダクティブヘルス分野特別研究

保健師養成コース

1-a. 共通科目では，保健医療技術の進歩や研究で得られた最新の知見を活用すると共に，保健医療専門職者として研究的に思考し，かつ倫理観を持って実践するための科目を配置します。
1-b. 学修の達成度は，筆記試験およびレポートにより評価します。

2-a. 専門科目では，保健師として必要かつ公衆衛生看護学分野の課題解決のための高度実践力と方法論を修得するための科目を配置します。最新のエビデンスを実践に活用すると共に，多様な文化背景・価値観を持つ人々の健康水準の向上に貢献するための公衆衛生看護学の方法論を学ぶ科目を配置します。
2-b. 学修の達成度は，一部の科目は筆記試験，その他はレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。

3-a. 公衆衛生看護分野の実践につながる研究活動を遂行するために必要な手法を身につけるよう特論，セミナー，特別研究を系統的に配置します。
3-b. 学修の達成度は，レポートやプレゼンテーション，ディスカッションで評価しますが，最終的には修士論文の審査に合格することにより評価します。

科目に関する別表（保健師養成コース）

資質等＼科目等		共通科目	専門科目	分野特別研究
主として養われる資質	基礎的知識・理解	生体情報科学特論		
	専門的知識・理論	臨床免疫学特論 生体機能解析・制御学特論 保健医療社会学特論	看護理論 公衆衛生看護学特論 ヘルスプロモーション特論 看護実践科学特論 リプロダクティブヘルス特論 地域・国際助産学 公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護支援論 健康支援技術論 公衆衛生看護活動展開論 産業保健学 学校保健学 保健医療福祉行政論 健康政策学 社会調査法 ※指導教員と相談の上，TMGH科目を2単位まで履修することができる	
	高度な実践能力	グローバルヘルス特論 開発協力特論	公衆衛生看護学セミナー 公衆衛生看護学演習 地域診断学演習 産業保健学演習 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護管理実習 看護実践科学セミナー リプロダクティブヘルスセミナー 周産期救急ケア演習 国際助産学演習	
	調整能力・倫理観・リーダーシップ	メンタルヘルス特論 医療倫理	看護管理学特論 公衆衛生看護管理学 健康危機管理論	
	研究手法・教育的手法	研究方法特論I 研究方法特論II 保健学研究の統計的理論と実践 保健統計解析演習	看護教育論 母子保健支援論 保健医療データ解析学	公衆衛生看護学分野特別研究

医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のアドミッション・ポリシー

保健学専攻は入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 大学院での専門的な知識と技術の修得に必要な基礎学力を有する。
2. 思考力や判断力，表現力に優れている。
3. 看護学，理学療法学，作業療法学に対する強い興味や関心，探究心を有する。
4. 高い倫理性と他者への共感性や協調性，リーダーシップを有する。
5. 学術文献の講読に必要な英語読解力を有する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎,大きい比重:○)）

入試区分 ＼ 求める資質等		基礎学力	思考力・判断力・表現力	強い興味・関心・探究心	倫理性・共感性・協調性・リーダーシップ	英語読解力
一般入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
社会人入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
外国人留学生入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	